

家族懇談会

平成29年3月18日(土)

家族懇談会当日は天候に恵まれ、14家族20名の方にご参加いただきました。ご家族より体験談や、困った事、嬉しかったことなど様々なお話をざくばらんにしていただき、ご家族同士、「私もそうでした!」「そんな時はどうしたの?」「こうしたら良かったですよ!」などの交流も生まれ、とても有意義な時間が流れて行きました。

改めて、ご家族が様々な思いを抱えていることを実感し、職員にとっても学びの多い貴重な時間を過ごさせていただきましたこと、心より御礼申し上げます。今後もご家族にとってより良い機会の場を提供できるよう、努力してまいります。次回は平成29年9月下旬を予定しております。



家族教室『森の中の語らい』

昨年度は認知症(7月~9月)、統合失調症(11月~2月)の患者さまを持つご家族を対象とした家族教室『森の中の語らい』を開催し、無事に終了することができました。どちらもご家族同士の交流が深まり、充実した場となりました。アンケートでも「またこのような場を開催してほしい」、「悩みや不安を共有できて気持ちが安らいだ」などの感想が聞かれました。また、地域にお住まいの方にもご参加をいただき、「森の中の語らい」が皆様にとって、より親しみの場になってきていることを実感することもできました。

今年度は9月下旬を目安に開催する予定となっております。皆様にとってより良い場となりますように、スタッフ一同心よりお待ちしております。



第15回医療法人昭友会 合同就職説明会

平成29年3月21日(火)

当日は看護師、介護職、看護助手を対象として8名の参加がありました。法人内の事業所説明、実際の現場見学、在職職員との座談会をしていただき、盛況に終えることが出来ました。

今回は7月の開催を予定しております。詳細が決まり次第、広報誌やホームページでお知らせ致しますので、参加希望の方はお気軽にお問い合わせください。

衣料品販売

平成29年3月22日(水)

春物を中心に衣料品販売会を開催しました。多くの患者さまが買い物を楽しまれました。次回は、6月初旬ごろを予定しています。

一行事予定

- ・避難訓練
4月17日(月)
- ・新緑まつり
6月初旬



編集後記

皆さまいかがお過ごしでしょうか? 病院には4月から新入職員が加わり、新しい風が入ってきています。私は4月で社会人2年目を迎えました。笑顔と思いやりの心を忘れずに毎日を過ごせたらと思います。

広報委員 山田 真緒

埼玉森林病院のホームページ <http://www.kokoro.or.jp/saitama/>

医療法人昭友会 埼玉森林病院

〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704
TEL0493-56-3191 FAX0493-56-4831

創業40周年に向けて

春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。お陰様で今年6月に当院は、創業40周年を迎えることとなりました。これもひとえに、これまで当院に直接あるいは間接的に関わっていただいた多くの方々のお力添えがあったことと感謝いたしております。

さて、そんな中、当院では従来の精神科病院のイメージを払拭し、地域に開かれた病院を目指そうと、改革の真最中であります。具体的には、これまでの精神疾患の長期入院を中心とした医療から、地域に戻れる患者さまには退院支援を行うこと、一方で入院治療が必要な患者さまには迅速に対応すること、認知症、内科、皮膚科、歯科の外来を充実させること、訪問看護や重度認知症患者デイケアを立ち上げ在宅での生活を支えること、さらに、オレンジカフェの開催、往診事業への協力などを通して地域に貢献することなどの取り組みを行っております。

また、同一法人内にある様々な事業所との協力を強化し、さらには、近隣の医療機関、介護事業所などとも連携させていただき、地域の皆様に医療・介護の両面からお役に立てる様に、法人全体としての取り組みも行っております。

国の高齢者医療・介護や認知症施策である、地域包括ケアシステムや新オレンジプランをみても、これからは、「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける」ということがキーワードとなっており、それを実現できる様に、我々医療機関には、適時、適切な医療・介護等の提供が求められております。

今後も、この地域で暮らしている皆様方から、安心して頼っていただくことのできる病院となるべく、病院スタッフ一同、努力を続けてまいりますので、どうかこれから先も埼玉森林病院を、何卒よろしく願い申し上げます。



埼玉森林病院
院長 磯野 浩

重度認知症患者デイケア 和～なごみ～ 1周年を迎えて

「デイケア和～なごみ～」は、認知症の方々とそのご家族の支援を目的として開設され、地域の皆さまのご協力のもと、1周年を迎える事ができました。誠にありがとうございます。

1年が経過し、開設当初より利用者様は増え、行える活動の幅も広がりました。現在は、散歩や体操、歌や編み物だけでなくボーリングやバレーボールなども行い利用者様からも好評を得ています。利用者様の状態も変化し、学ぶことが多い場です。職員一同日々、やりがいのある勤務をさせて頂いております。

認知症の治療には、「薬を使用する治療（薬物療法）」だけでなく、「薬を使用せず、人との関わりなどによって症状の改善を目指す治療（非薬物療法）」も必要となります。デイケアでは非薬物療法を中心に認知症の症状の1つである周辺症状（周りの人を困らせてしまう行動）の改善を目的に関わりを行っています。

周辺症状の改善には、できるだけ自分らしさを発揮し、利用者様も周囲から「求められている」、「認められている」、「自分でもできる」という事を実感していただくことが大切です。デイケアでは、少しでも自分らしさを発揮できるよう、スタッフ間で周辺症状の原因について随時検討を行い、実際の取り組みに繋げています。

また、デイケアでは医師の診察もご利用ごとに行っています。そのため、「夜寝てくれない」「少し認知症が進んでいる気がする」など、ご家庭での困り事や疑問にも迅速に対応が可能です。

デイケアのご利用は、医療保険の適用になります。スタッフも、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士などの有資格者がチーム医療を担っています。今後も当院の「もの忘れ外来」「訪問看護」と連携し、利用者様とご家族がよりよい生活が送れるよう、地域ケアを実践し、精進してまいります。

—利用者様の作品一覧—



ちぎり絵で作成
「赤富士」



折り紙作品



ポンポン手芸



編み物や折り紙人形

～お知らせ～

□ 新入職医師の紹介

小松真二医師(精神科)、福田純一医師(精神科)が平成29年4月1日に着任しました。今まで以上に精神医療の充実が図られます。次号(7/1号)にて改めてご紹介いたします。



□ 院内研修 □

I. 包括的暴力防止プログラム研修 (CVPPP)

平成29年3月15日(水)、20日(月)、27日(月)

医療施設職員の8割が就業中に暴力被害を受けたと報告されています。過去、医療現場で発生した暴力は当事者間の問題と考えられていました。現在では暴力行為を医療の一過程とし捉え、暴力の正しいアセスメント、緊急時の直接的介入技術、組織的な対応と早急な環境整備の重要性が叫ばれています。今回の研修においては、暴力のプロセス、暴力に至る時期、対応するコミュニケーション・スキルなどを学び、更なる安全で安心した医療環境を提供していきたいと思われました。

II. パーソナリティ障害研修 (外部講師)

平成29年2月13日(月)

パーソナリティとは「その人らしさ」の総称であり、心の動きが1つのまとまりとなって示すその人らしさや特性、それが「性格」や「人格」と呼ばれるものであると言われています。特定のパーソナリティ傾向によって周囲とのあつれきを生みだし、本人も生きにくさを感じる状態をパーソナリティ障害と呼んでいます。例えば社会的孤立傾向のある方、感情表出の乏しい方などと言われています。

今回の研修を受講し多様なパーソナリティ障害の理解対応方法など習得した知識を日頃のケアに生かし、より良い看護ケアに努めてまいります。



III. インフルエンザ、ノロウイルス感染予防研修

平成29年1月18日(水)、23日(月)、30日(月)

感染管理とは、医療施設内での感染拡大予防を目的とした基本的な医療安全管理体制の一つです。感染を拡大させないための組織、個人レベルでの取り組みが大切です。病院でも人が密集しているため感染が拡大しやすい傾向にあり大きな問題に発展しかねません。感染を未然に防ぐ、発生した感染症を制圧する、また外部からの持ち込みに対しても意識を高め、感染経路を断つ工夫を行う事は安全な医療環境を維持するために欠かす事ができません。今年もインフルエンザ、ノロウイルスの感染症が流行し、当院においても発症が確認されました。流行期間中の現在、来院者の皆様への体調の確認、マスク装着、手指消毒励行などのご協力をお願いしています。

